

令和2年度「自己評価報告書」

社会福祉法人 愛護会 東水沢保育園

I. 保育目標

<ul style="list-style-type: none"> ●健康で明るい子ども ●豊かな心を持つ子ども ●自分のことは自分でできる子ども ●他人のことを考え、協力できる子ども ●何故だろうと考え、物事に疑問を持つ子ども ●自然に親しみ、愛することができる子ども ●人の話をしっかり聞き、自分の意思を言葉で話せる子ども

II. 施設運営の重点課題

●保育内容の充実	●風の子農園運営	●子育て支援活動の推進と地域福祉の向上
●食育指導の充実	●職員の資質向上	●障がい児保育の充実と実践研究活動の促進
●地域との積極的な交流		

評価の基準

A	十分達成されている
B	達成されている
C	取り組んでいるが、成果が十分でない
D	取り組みが不十分である

III. 評価項目と取り組み状況

自己評価項目		評価	取り組み状況
1	保育内容の充実 ・乳幼児の健全な発達をめざし保育内容の充実をはかる。 ・養護と教育が一体となり展開されるよう進める。	B	・年齢発達に応じた指導計画を立案し保育を実践し振り返りをもとに次に繋げた。 ・一人ひとりの発達、家庭環境を捉え職員の共通理解をはかり保育を行った。 ・言葉かけ、環境等に留意し子どもの興味、関心を引き出すような関わりを心がけた。
2	風の子農園運営 ・畑活動を通して生き物の共存、収穫の喜び、食することへの楽しみ等、幼児期の教育に重要な活動とする。	A	・野菜の生長の様子、色、数、虫など様々な事への気づきにつなげていった。 ・農園で野菜のお世話をしながら畑活動を楽しんで行った。野菜を使いクラスごとのクッキングや園全体での収穫祭を行い、食べ物への感謝の気持ちや意欲につなげる事ができた。

3	地域との積極的な交流	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい地域の方々をお呼びし、保育園を知っていただき交流を図る。地域の行事へも参加する。 		<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ感染予防として、行事は、園児、職員、保護者のみで行った。
4	子育て支援活動の推進と地域福祉の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・延長保育、障がい児保育など保護者のニーズにこたえる。 ・地域における子育て支援の充実・推進に努める。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・延長保育は午後8時まで行っており保護者のニーズに応えている。 ・子育て支援拠点事業では訪問保育に出向き地域の方々との交流も行った。講座に講師をお招きし、親子の触れ合いの大切さを伝えていただいた。センター開放日には、園に来園し、集団で過ごす同年齢の子ども達の姿も知っていただいた。 (コロナ感染予防を取りながら行った。)
5	食育指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・食を通して家庭、地域社会との関わりを深め、子どもの心と身体の育成を促す。 ・風の子農園の野菜を生かし料理を作る等保育との連動を持つ。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・地域との連携を深め、地産地消を取り入れながら安全安心な食材の提供を行った。 ・「食を営む力」を育むため、保護者より農園の食材を使ったレシピを提供していただきクッキングに活用した。 ・文化祭「給食コーナー」では、「子どもに伝えたい和食」、畑の野菜を使ったクッキングの様子、レシピの紹介の展示を提供した。保護者に食育について知らせた。
6	職員の資質向上	<ul style="list-style-type: none"> ・各種研修会に参加し保育力を高める ・「たくましい子を生み育てる保育の実践と研究」を進める。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の取り組みでウェブ研修を受講し、新たな形での研修を受けることができた。 ・四園保育事業部会で取り組んでいるチーム研修では、保育士リーダーを中心にテーマに沿った内容で進め、自園の職員にも働きかけをしながら取り組んだ。 ・園内研修では、年齢別会議を行い話し合いや振り返りを行い保育実践につなげてきた。
7	障がい児保育の充実と実践研究活動の促進	<ul style="list-style-type: none"> ・発達程度に応じた保育ができるよう家庭、医師、専門機関と連携を持ちながら障がい児保育の充実をはかる。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児教室の様子等保護者と情報交換をしながら各専門機関とも連携し、適切な支援を行うことに努めた。 ・年長児は就学に向け、教育委員会や各関係機関と連携しながらスムーズな移行ができるように努めた